

JAPAN メダル7個！ (※)

編集：山本広報・尾形強化スタッフ

平成27年10月8日(木)

【タイムスケジュール】

6時～朝食
8時 ホテル出発(送迎バス)
9時 国立体育大学到着
10時～12時 試合・表彰式
12時半 ホテル到着、自由時間
17時半～打ち上げ

梶下コーチコメント

男女シングルスFINAL

男子は親松vs梶下です。梶下の優勝でシングルスが終わりました。

表彰式は日の丸が4本のポールに掲げられる素晴らしいセレモニーでした。国内の大会でも試合をしている二人です。ベストを尽くした試合でした。

佐野村トレーナーと試合を見ながら今後の課題を見つけました。練習方法などを相談しています。

日本男子チームの軸となり歴史を変えてほしいと思います。

最後は台湾チームとの合同で写真撮影をして盛り上がりました。

【試合】 結果・選手コメント

男子シングルス決勝

○梶下怜紀 2-0(6-1, 6-1) ●親松直人

＜梶下選手コメント＞

今回、優勝できたことは嬉しいですが、今の自分が優勝してよかったのかなという疑問もあり複雑な気持ちです。

今回の結果に満足することなく、今後も頑張ります！

＜親松選手コメント＞

自分の思い通りにプレーできなかった。自分の甘さが出た試合でした。

今日で終わりではない。次への課題も見つかったので、今後が本当の勝負だと思います。

頑張ります！

応援してくださったみなさん、本当にありがとうございました。



男子シングルス表彰式

斎藤監督のコメント

最終日は、男子シングルス決勝、女子シングルス決勝でした。

男子シングルス決勝は日本人同士の対決。残りのメンバーはアジア大会期間中での敗因の課題練習をしました。

女子メンバーも女子シングルス決勝を観戦し、トップレベルの試合を見て学ぶことがたくさんあり勉強になったと思います。

あっという間に終わったアジア大会ですが、宣言していた目標のメダル数5個を上回る7個を獲得し目標達成しました。でもメダル獲得したからといって、浮かれてはいけません。

このままではデフリンピックでのメダル獲得は難しいです。アジア大会は単なる通過点です。アジア大会で学んだことを2年後のデフリンピックでメダルを獲得することを目標にし、今まで以上に更にもっと頑張ってもらわないといけません。選手たちにもそう伝えました。

日本から温かいご声援をいただき、本当にありがとうございました。

選手、スタッフの皆さん、本当にお疲れ様でした。フィラのウエアを提供してくださいました藤沼様、ありがとうございました。

日本で、レポートのホームページ掲載作業をしてくれた広報担当の山本さん、ありがとうございました。

感謝の気持ちを忘れることなく、更に上を向いて向上していきます。

本当にどうもありがとうございました。

(※)メダルのカウントについて

アジア大会ルールにより、男子は5ヶ国、女子は4ヶ国以上の参加がない種目はメダル授与の対象外になります。

男子ダブルスにて、親松・鈴木ペア優勝、梶下・松下ペア準優勝していますが、男子ダブルスの参加国は、日本・インド・台湾・中国の4ヶ国だったため、メダル授与はありませんでした。

(表彰状も、名前の記載のみで順位の記載なし)



日本チーム集合写真



台湾チームと集合写真